

ありがとう

〈敬称略〉

■寄付金

- 五所川原ライオンズクラブ 10,000円
- 五所川原中央ライオンズクラブ 10,000円
- 五所川原東日流ライオンズクラブ 10,000円
- 松緑神道大和山五所川原教区 45,000円
- 松緑神道大和山広田支部 30,000円

■物 品

- 三上餃子 折り紙箱、手づくりマグネット 0.5kg

■アルミ缶・プルタブ等

- 五所川原 荒谷美子、池田巖、石田博偉、長内伊久子、小野勝義、笠井達徳、金沢加奈、木村貞子、黒川清明、斎藤真紀子、対馬利恵、伝法谷巖、伝法谷誠子、福土弘子、藤田菊江、松橋タミエ、三上てるゑ、三浦トシ、山口久喜、米谷美智子、アトリエ遊雲庵、㈱アネスコ、㈱岩谷精肉店、㈱カクヒロ広田店、鎌谷老人クラブ、クリーニングサンみわ、五所川原中央ライオンズクラブ、㈱津軽石油、東奥日報五所川原駅前販売店、フリーミストクラブ、明治安田生命五所川原営業所、山本水産、すし割烹さわ、こども園がわ

●金 木

- 青山ハル工、浅利勝義、磯野儀祈、鎌田美智子、木下恵子、工藤初美、今 美子、田中豊忠、津島伸幸、津島マツ工、長尾匠時、奈良セツ、前田キヨエ、山中ゆり子、金木女声合唱団チアリーコール、金木総合支所、喜良市婦人会、喜良市老人クラブ、県猟友会金木支部、竹峰書道院、前田自動車商会、みどりの風こども園かなぎ、夢の森ラッキー

●市 浦

小野由紀子、成田商店

■こども宅食へ寄付

- うめだりんご園 りんご 150kg
- ㈱モリレイ 冷凍食品・切り餅 31.6kg
- ひなた薬局 カップ麺 12kg
- フリーミストクラブ 女性用品 8kg
- 松緑神道大和山広田支部 ネギ・柿 154kg
- 匿名 お菓子 1.7kg
- 法永寺 りんご・お菓子 18kg
- 水口京子 ジュース、お菓子、スープ 1kg
- 菱沼一輝 飲料品ほか 4kg
- 小田川浩三 大根 7.5kg
- 天理教西北Ⅰ支部 りんご 20kg
- ふりかけ・スープ 1.5kg
- ㈱みかみ商事 お菓子 10.5kg
- 木村富男 白米 45kg

■ファミマフードドライブ

- 唐笠柳店 1.8kg
- 金木店 11.5kg
- 田町店 1.5kg



▲エコキャップを届けてくれたこども園もがわのひまわり組のみなさん



▲エコキャップ等を届けてくれた、こども園かなぎのもも組とさくら組のみなさん

学用品の寄付求む!

- ▶制服、ジャージ、通学カバンなど(市内の中学校、西北五圏域の高等学校の指定品)
- ▶筆記用具(筆箱・鉛筆・消しゴム・ノートなど)

～制服、学用品をリサイクル～

「制服、学用品を譲ってほしい」という相談が寄せられ、入学や成長に伴う洋服の準備を心配する家庭が少なくありません。

社協では、このような子育て世帯の支援として、不要になった衣類や学用品等の寄付を募り、提供する「おさがり交換会」を行っております。

“きれいだし、捨てるのはもったいない” “卒業したし、もう使わない”

保管中の学用品、制服をお持ちの方は、是非ご協力ください。



【寄付時の注意事項】

- 名前などはマジック等で消してください。
- 破損や汚れが目立つものはお返しする場合があります。

※3月に制服おさがり交換会!※

日程は、五所川原こども宅食便公式LINEでお知らせします。▶



プルタブ、アルミ缶換金 11、12月分

目指せ3,000kg

アルミ缶
40kg
(9,600円)

令和7年12月末までの累計kg数は、
アルミ缶が200kg (33,500円)
プルタブ441.5kg (62,157円)
となりました。

プルタブ
44.2kg
(9,724円)

貸し出し用除雪機購入を目指し、今後もご協力、よろしくをお願いします。



各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

地域文化と価値創造の接点。



【本 社】五所川原市金山字亀ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459
URL <http://www.artprt.co.jp> E-mail net@artprt.co.jp
【つがる支店】つがる市木造千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

介護支援専門員・介護職員募集中!! 私たちと一緒に働きませんか

株式会社 五所川原ケアセンター

認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護「高齢者グループホーム憩いの家」
小規模多機能型居宅介護「ケアホームのりた」「ふれあいホームいこい」
居宅介護支援「ケアセンターいこい」

総合相談受付 TEL 34-4856 ケアホームのりた(事務本部)



社協ごしよがわら

令和8年
2月号

編集・発行/社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855
〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6 URL <http://gccsw.net/> E-mail gccswg@gccsw.net
■金木支所・電話 0173-53-2241 ■市浦支所・電話 0173-62-3285

年末年始 あちこちで地域交流 元気と笑顔広がる

近隣住民との交流や異世代交流が少なくなる中、地域のいろいろな団体が独特のアイデアで、見守り活動や交流の企画がそれぞれ実施されました。

各地区社会福祉協議会では歳末たすけあい運動の活動として、ひとり暮らし高齢者宅を訪問して、健康や詐欺への注意点や不安ごとを尋ねるなどして、身近で支援できることを伝えていました。(関連記事3面)

本会が推進する見守り活動に取り組む町内では、サロン参加者などによる日常的な訪問も増え、気軽な近隣交流で暮らしの安心感と元気づくりが図られています。

小学生と
高齢者

ポッチャ対戦で熱い交流

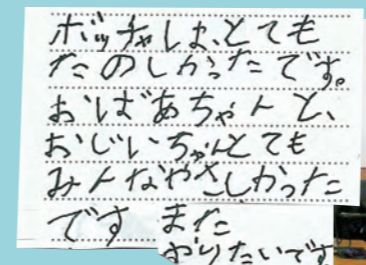
ひまわり放課後児童クラブ(五所川原市地域福祉センターで実施)の利用児童が、冬休みの体験活動の一環で五所川原市老人クラブ連合会の会員と、人気のスポーツ「ポッチャ」を楽しみ交流を深めました。

当日の出迎えと名札づくり説明は小学生が担当、ゲームのルール説明は老人クラブ会員が担当し、津軽弁を交えた解説で雰囲気は一気に和やかに。

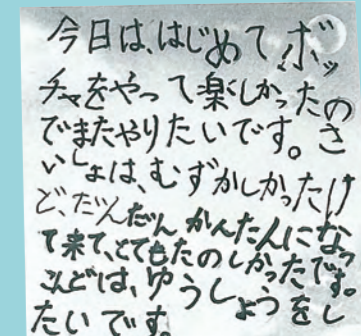
多くの参加者がポッチャ未経験だったものの、練習や

対戦が進むにつれて老若混合のチームプレーに熱も高まり、ボールの着地点を見極めては「よし!」「あー」と大きな声があがり、審判の判定を真剣に見守りました。

老人クラブに所属する葛西慶子さん(91歳)は「初めてのポッチャを曾孫年齢のかわいい女の子と経験できて10歳以上若返った感じ。良い機会になった。また参加したい。」と笑顔で話し、小学生は手書き文字(写真)でも感想を残しました。



赤と青の各チームが、どれだけ白球に近付けるかの戦略も楽しみのひとつ



ポッチャ ヨーロッパ生まれのスポーツでパラリンピックの正式種目

様々な環境(年齢、性別、障害の有無など)を越えて気軽に楽しめるスポーツで、レクリエーションでも活用できます。すべての人が一緒に競い合えるスポーツとしても人気が高く、ルールがカーリングに似ているため「床の上のカーリング」とも言われます。

本会で用具貸出を行っています。



この広報は、皆様からお寄せいただいた共同募金の助成金を活用して発行しています

歳末募金約120万円ありがとう 高齢者の見守り訪問と交流に活用

市内の12地域で、令和7年度の地域歳末たすけあい募金を活用して、一人暮らし高齢者など約1000世帯への見守りと激励訪問などを行いました。

地区社協や民生委員、町内会長など総勢約200人が連携協力して活動し、贈られた品物を手に、募金者や訪問者への感謝や年末の会話を親しく交わしました。

金木地区で盛んな「しめ縄づくり交流」は10年を迎え、これまでに延べ1500人程が参加し、歳末の住民交流として定着しています。

会場では、経験者が初心者に伝授したり、年々上達する各自の出来栄に「来年も運氣向上間違いなし」と意欲を高め、「市販品よりもご利益あり!」「力作コレクションで保存する」など、にぎやかな会話も笑顔も広がります。

参加できなかった人にも作って届けようとの発案で、訪問する見守り活動も芽生え始めています。

その人気は五所川原地区や市浦地区でも話題になり、今年は各種団体が6会場と同様の交流を展開しました。

歳末たすけあい募金を活用した事業の概要

第一地区	70歳以上独居者の集会型見守り交流とお楽しみ会
栄地区	75歳以上独居者宅を見守り訪問し、日用品詰合せを贈る
梅沢地区	高齢者世帯を見守り訪問し、日用品を贈る
長橋地区	70歳以上独居高齢者宅を見守り訪問し、年越しそばとおせちを贈る
七和地区	70歳以上独居者宅を見守り訪問し、お年玉を贈る
三好地区	70歳以上独居者宅を見守り訪問し、日用品詰合せを贈る
飯詰地区	70歳以上独居者宅を見守り訪問し、調味料や日用品詰合せを贈る
毘沙門長富地区	80歳以上独居者宅を見守り訪問し、日用品詰合せを贈る
中川地区	70歳以上独居者宅を見守り訪問し、日用品詰合せを贈る
松島地区	77歳以上独居高齢者宅を見守り訪問し、日用品詰合せを贈る
金木地区	しめ縄づくりで地域内交流の定着活性化を図るため4会場で実施
市浦地区	75歳以上独居者の集会型見守り交流とお楽しみ会



縄ないの技を取り戻し、「じょんずぐいってらど」と楽しみながら黙々と続ける参加者。



お好みのしめ飾りを選び、お手本にして参加者は作業を始める。

子どもたち大喜び 玄関に現れるサンタにビックリ

NHK歳末募金を活用した本会の独自活動として、クリスマスケーキやプレゼントを準備し、保護者からの申込みに応じて自宅を訪問しました。

玄関に現れたサンタクロースに、子どもたちは驚き、大はしゃぎ、満面の笑顔を見せ、その様子に保護者も日頃の疲れを忘れ、元気を回復させるようなほほえみが広がりました。



ボランティアがサンタクロースに扮して、訪問や記念写真に協力。



寒中お見舞い
申上げます

寒さ厳しき折、皆様にはますますご活躍のことと推察申し上げます。

常日頃からの絶大なご支援に対し、心からお礼を申し上げます。

本会は、今年二月二十四日で社会福祉法人化六十年となります。

発足から永きにわたって、たくさんの方々のご尽力で守り育てられてきた本会を、次代になく節目となる今年、千支は午であります。

情熱や行動力が高まり、勢いある年と言われるこの巡り合わせを、力強く地を駆ける馬のように、住民の安心と幸せを確実に増やせる兆しととらえています。

さて、加速する人口減少や少子高齢化などは、支援や交流の脆弱さや周囲が心配ごとになり、機会に遅れを生じさせ、不安な期間の長期化や課題を複雑深刻化させています。

こうした実情を、より多くの市民の方々や各種団体と共有し、一緒に「さりげなく見守り支え合える」身近な環境を築くための協議とそれぞれができる行動を組み合わせていくことを基本に据え、本会の理念「笑顔でつながり幸せあふれるごしよがわら」を追求してまいりますので、一層のお力添えをお願いいたします。

皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会

会長 乗田孝一

住民熱意を結集 — 社会福祉法人化から60年 —

五所川原市社会福祉協議会は、住民福祉の向上を図る目的のもと、関係機関団体の願いと参加協力により、1955年(昭和30年)1月28日に任意団体として組織されたところから始まります。

事務所を五所川原市字旭町53番地(当時の五所川原市役所2階の一部/約23㎡を借受)に置き、下記事業を中心に活動を始めています。

- ◇心配ごと・出稼ぎ相談所の運営
- ◇たすけあい資金貸付
- ◇低所得世帯の更生援護
- ◇竹細工内職指導所の運営など

約10年間の活動実態や住民の福祉課題増大への対応基盤を強固にする趣旨のもと、社会福祉法人化の構想を決議し、厚生省に社会福祉法人設立認可申請書を提出、1966年(昭和41年)2月24日に認可(写真)を受けました。



「参加してほしい」「活動したい」をつなぐ ボランティア・市民活動センター



高校生がスマホ先生 — 高齢者講座でボランティア

ボランティアセンターに、「自分のスマホ操作を知りたい」という高齢者の希望に対応できないか。という五所川原市老人クラブ連合会からの相談を受け、①説明を個別に対応できる環境にしよう ②高齢者も得意なことも発揮できる異世代交流を計画しよう。などと相談者に提案。

先生役に高校生を想定し、高等学校にポスターを貼り出して募集しました。

老人クラブは計画していた事業名「スマホ教室」を「わくわく交流会」に変更し、双方ができることを発揮し合うものに充実。

高校生を先生に「ラインで写真送信ができた」「簡単な操作方法を理解した」と老人クラブ会員は笑顔。高校生は、高齢者が発する津軽ことばに、「本物の津軽弁」「ネイティブ」と応じ、輪投げゲームも交えた楽しくにぎやかな時間を過ごしました。



ボランティア活動に参加してほしい人と活動したい人を、円滑につなぐことを目的に、五所川原市ボランティア・市民活動センター事業を実施しています。

主な活動は

- ① 情報の収集提供……ボランティア活動をしたい人、募集したい人に役立つ情報を集めて提供等
 - ② 相談・登録・紹介……希望する活動機会探し、活動者の募集などの相談、受付と紹介等
 - ③ 広報啓発……参加意欲の向上や活動推進に必要な研修、出前講座などの取り組み等
 - ④ 活動支援……活動中の補償に備える保険加入、用具機器貸与、寄付活動の推進等
- 活動に参加してほしい 体験したい 活動資材を借りたい 出前講座を利用したい…
相談はお気軽に…五所川原市ボランティア・市民活動センター TEL 0173-34-3494 (社協内)

電気のこと 暮らしのこと
お宅の困ったは 丸英 承ります

丸英設備
つがる市柏盛幾世171 TEL 0173 (27) 5101

オール電化のことなら 東北電力電化普及協力店 **丸英設備** 丸英設備 丸英設備

空調設備 給排水設備 電気工事
株式会社 丸英でんき
〒037-0056 五所川原市東広30-43 TEL 0173-35-0103